

第11回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和6年10月31日(木) 午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター3階第4研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 村木 美貴、江守 央、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、地下鉄8号線事業推進室長、都市計画課長、まちづくり推進課長、沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
大島四丁目のまちづくりについて		まちづくり推進課	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料2	年明けに予定されているワークショップの内容についてお聞きしたい。	公募会員を中心に、広い範囲に参加を募り、地域の魅力等について改めて見直し、検討を深めていく予定。
2	資料2	(ワークショップに参加する公募会員の)募集をかけたときに、参加の範囲が広がりそうか、感触をお聞きしたい。	準備協議会では、町会長をはじめ、商店街の方にも参加いただいております。かなり積極的にご意見をいただいている。団地が良くなるためにどのようなことができるか、さらにアイデアをいただきたいと思っています。
3	参考1	住民の方から意見をいただくことはとても望ましいことである。ただし、行政が抱える課題や、将来に向けた取り組みに関する意見がでてこないことがある。50年先の将来にあるべき機能を検討することが必要であり、これだけ大規模の建替えなので、防災面や脱炭素等に関する取り組みについては、行政側からも積極的に提案して検討されたい。	準備協議会においても同様のご指摘を外部有識者の先生からいただいた。次の世代の人たちのライフスタイルに対して何か実現できるような要素を取り入れられるように、協議会の中で検討していきたい。
4	参考1	気候変動・生物多様性・Well-beingについては、(まちづくりにおいて)将来に備えるべき基本的な課題となっているため、それを念頭に検討いただきたい。P15 周辺は「みどり」も豊かなため、そのストック資源を活かして、エリアの生活を描いていくことが大事である。	/

5	参考1	防災面でいうと、高台まちづくりについても考えていかなければならないため、緑の保全と高台の整備について、(バランスをとりながら)実現に向けて考えていかなければならない。	
6	参考1	地域の多世代化は課題であり、大島四丁目だけではなく、周辺地域との連携を考えるとよい。	
【議題】			【所管】
その他			まちづくり推進課 沿線まちづくり担当
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	—	<p>緑地に関する認証制度が幾つかあり、まず、ランドスケープに関しては、「SEGES」という評価システムがある。審査基準、評価基準を見ていただくと、これからのまちづくりにおいて考えていかなければいけない基本的な項目が網羅されているので、参考にしていただきたい。</p> <p>また、都市緑地法が5月に改正されて、「TSUNAG」という認証制度が始まる。これは国土交通大臣が直接お墨付きを与えるもので、相当ハードルが高いものと思われる。いずれにしても、今後はそれらの認証制度で掲げられた評価基準がスタンダードになってくるため、一度ご確認いただけたらと思う。</p>	